

●夕方になると子どもだけが家にいる母子、父子世帯など、援助を必要としているさまざまな人たちが暮らしています。

ふれあいネットワーク活動は、そうした人たちを地域のみなさんが日常的に見守り、助け合いながら必要な福祉サービスへと結び付けることで、だれもが安心して暮らせるまちづくりをすすめる活動です。

皆様のご協力を宜しくお願い致します。

青少年交換学生 アナ・パウラさん挨拶



皆さん、こんにちは!!

アナパウラ・ヌネスサントスです。ヌネスはお母さん、サントスはお父さんの名前で、日本の名字になります。どうぞ、アナちゃんと呼んで下さい。

あと3ヶ月日本にいますが皆さんこれからもよろしくお願いします。

日本は楽しいけど、日本語が全然話せず、英語も分からないし、ポルトガル語が分かる人もいないので、最初は大変でした。初めは何も話せませんでした。ポルトガル語の分かる人は手を挙げて下さい。……いませんネ。(笑)

今年3月、日本の空港でロータリーの人とホストファミリーの人が私の名前を書いた紙を持って待ちました。そしてホストファミリーのママと家に着きましたが、すごく緊張してどうしていいのかわかりませんでした。ブラジルの家族も友達もいないけど1人でも、頑張ろうと思いました。

日本人はとても親切で、優しく、助けてくれます。今は日本語がちょっと話せるようになって友達もたくさん出来たので、ロータリーの人とも友達になりたいので皆さん私に話かけて下さいネ。

今日は自分で作ったブラジルの国旗のブローチを皆さんにプレゼントします。

本日は有難うございました。

吉田(節)会長挨拶

本日は2名のビジターと只今御話しをいただきました千種区社会福祉協議会の真鍋事務局長を始めホストファミリー日比野様、交換学生アナパウラさんのおいでをいただいて居ります。

先週の土曜日及び日曜日の2日間、第2760地区の地区大会が名古屋東南RCのホストに依り行われ第1日

目はホテルナゴヤキャッスルに於て本会議及びロータリーミーティング“21世紀への懸橋”本音で語ろう教育問題と云うテーマで行われ、大会2日目は場所を変え名古屋国際会議場での本会議で第1部は小谷R1会長代理より現在ロータリーが抱えている3つの課題、即ちその1つはロータリーのメンバーの減少、2つ目は例会出席率の低下、3つ目は出席規定の変更に就いてロータリーの現状報告があり、次いで第2部では早稲田大学吉村教授による“エジプト文明から見た地球環境”と云う演題で記念講演があり環境はリサイクルにつながる事を強調されて居られました。そして第1日目の表彰式に於て我が千種RCはR1会長賞と米山功労優秀クラブ賞を受賞致しました。おことわりしておきますがこれはあくまでも直前会長松居年度の受賞でございまして、今年度の表彰ではありません。

さて、最近長びく不況の為大企業はもとより我々中小企業に至るまで一日も早い景気の回復と云う事が言われて居る昨今でございますが、回復と云うのは元に戻ることであります。だけど景気は引き返そうとしているのではなく、暗く長いトンネルを抜け出ようとしているのであります。

抜けた先にあるのは元の景色ではなく全く新しい景色ではないでしょうか。みんなが回復することを考えている時に新しい景色はどんなものかを考えて見る事が大事ではないかと思えます。先を読むにはこう言う考え方が必要ではないかと云う事を一言つけ加えて本日の挨拶とさせていただきます。



2ヶ月間、ホストファミリーとしてお世話頂いた日比野栄子さんに、会長より感謝を込めて花束贈呈。

◆11月度理事会議題

1. 年末謝礼の件
2. 社会奉仕委員会事業の件
3. 環境保全委員会事業の件
4. 12月理事役員会の件
5. 新入会員候補者の件
6. 退会の件
7. 休会の件

◆次回例会(12月8日)

“オユンナ児童基金について”

日本モンゴル文化協会 理事長 久野 昭治氏